

米国の住宅平均価格 ハワイがトップ

オアフではカイルアが全国8位

27日に発表されたコールドウェル・バンカー・リアルエステート社の調査結果により、ハワイ州の平均住宅価格は米国内で最も高いことが明らかにされた。

同社の「ホーム・リステイング・レポート」によると、米国内の2479の不動産市場を分析した全国の平均住宅価格は29万2152ドルとなつてゐる。

調査によると、ハワイ州内における4寝室2浴室の住宅の平均価格は74万2551ドルで、2位にランクされたマサチューセッツ州の48万9063ドル、3位カリフォルニア州の43万1625ドルを大幅に超える結果となつた。

レポートは2012年1月から6月までの間の7万2千戸の住宅価格を調査した結果で、全国で平均住宅価格が最も低いのはネブラスカ州で14万5360ドル、次いでアイオワ州16万2621ドル、ジョージア州16万9625ドルという結果となつてゐる。



オアフの中古住宅販売数が急増
10月のオアフ島の中古住宅販売件数は、市場の在庫に限りがあったにもかかわらず、大きく増加している事がわかった。ここ数カ月間のモーゲッジの利子が3.4%~3.6%と低いことで、一戸建て、コンドともに昨年同月に比べおよそ30%増加した。また一戸建て住宅の中間価格は来年には6.8%、コンドは5.9%上昇し、今後も上昇し続ける事が予想されている。 Hawaii Pacific Press 11/13

販売数を伸ばすぞ!

パゴダ・ホテル、ハワイ島のアパートを買収 Pacific Press 11/13

地元住民や大学生向けに低料金で客室を提供する、「パゴダ・ホテル」系列を拡張する計画を進めている開発業者、ピーター・サビオ氏は、プロジェクトの一環としてハワイ島ヒロのワイアケア・ラゲーン・ビュー・アパートメントを買収する契約を交わした。このアパートはホテルと学生寮に改装される予定で、カポレイにあるハワイ大学西オアフ校近くにも同様のプロジェクトを計画中。

大規模な不動産売買も多岐に
昨年に引き続き、2013年も
期待されている不動産マーケット。

果となつた。州全体の平均価格ではハワイ州がトップとなつたが、個々の市場別に見た場合、アツプル、フェイスブック、グーグルなどテクノロジー系大企業が集まるカリフォルニア州サンフランシスコのベイエリアの住宅が最も高くなる。中でも最高はこのベイエリアにあるロス・アルトスで171万ドル、次いでカリフォルニア州南海岸部のニューポート・ビーチが166万ドル、ベイエリアのサラトガが158万ドルとなつてゐる。

ハワイ州内の最高値はカイルアの124万ドルで、個々の市場別では全国で8位だつた。ホーム・リステイング・レポートはハワイ州内ではオアフ島の市場のみを調査しており、他島の市場は計算に入っていない。オアフ島では他にホノルルが全国35位で86万1379ドル、ミリラニが137位で60万1316ドル、カポレイは226位で52万2020ドル、エバ・ビーチは281位で48万9830ドルとなつてゐる。

全米1位です。「ハワイの家の価格は落ちない」という言葉をよく耳にしませんが、本当です!!

勢いのあるハワイで活躍する企業のニュース。 2013年も新しい開発計画に注目ですね!

ワードセンターズ開発計画発表
ワード・ヒューズ・コープは、カカアコ地区のワードセンターズのほぼ全域の開発計画修正案を発表した。これによると、60エーカー内に住居用コンドタワー22棟(計4300戸)が建設される他、小売、レストラン、エンターテインメントのビジネスが集まる都会的な「ワード・ビレッジ」と呼ばれるエリアが出現することになる。第一期工事の完成は2016年の予定。 Hawaii Pacific Press 12/112

A & B社、第3四半期の利益大きく上昇
アレクサンダー&ボールドウィン社の業績報告によると、同社の第3四半期の純利益は1340万ドルで前年同四半期の440万ドルから大幅に上昇したことがわかった。主な理由としては、出荷の時期が影響し、マウイ島で営業する子会社、ハワイ・コマースシャル&シュガー社の売上が大幅に増大した事が挙げられている。 Hawaii Pacific Press 11/113





ハワイシニアライフ協会

「パン」というチャリティコンサートを主催している。協会員の信用と、幅広い人脈を有効に活用しての活動は震災支援活動にも大きな役割を果たしてきた。「レインボーフォージャパンキッズ」への支援はプログラム発

日本とハワイの橋渡しをし、アクティブなシニアライフを過ごす手助けを始め、昨年、ハワイシニアライフ協会の活躍には目を見張るものがある。

昨年、震災後、4月には協会単独ではないが、ハワイの諸団体と協賛の形をとり、地元音楽家の協力のもとアロハタワで「アロハ・ミュージック・フォー・ジャパン」というチャリティ

足時から行われてきた。6月にはチャリティゴルフ大会を行い5000ドルを寄付している。

恒例のホノルルフェスティバルに合わせて開かれるジャパン・ハワイ・カルチャーエキスポでは震災で大きな被害をうけた茨城県笠間焼窯元を招き、実演と販売をした。

同月、ファンドレイジングのため、みやぎびっきの会の代表で歌手のさとう宗幸氏や小柴大造氏を迎え、地元からはマノアDNAやチヨ・プリンさんに出場してもらい、コンベンションセンターで

チャリティコンサートを主催している。この時招待した「レインボーフォージャパンキッズ」3回生も壇上で、作り立てのウクレレで演奏に参加している。

6月にはシニアライフ協会ホノルル支部の設立とも併せ、チャリティ寄席をパロロ本願寺で開催。協会設立5周年の10月には記念イベントとして、歌手の吉幾三さんと合同でチャリティゴルフ大会とディナーショーを行い、収益金を全額「レインボーフォージャパンキッズ」に寄付している。

「ハワイと日本、強い絆で結ばれています...」

「ハワイと日本、強い絆で結ばれています...」

新しい人気のハワイ。実現も近いよね!

日本人旅行者 200 万人を目指すキャンペーン Hawaii Pacific Press 12/15/12

日本旅行業者協会とハワイ観光公社は、年次日本・ハワイ観光促進協議会の席上で、年間の日本人旅行者数を2016年までに200万人台に復活させる事を目標とした覚書に署名した。キャンペーンは2013年から始動し、実現すると、日本人旅行者による年間消費額が40億に達し、州の税収は4億4000万ドルに増大すると見られている。

SHIRI KAWAYI

全公立校に太陽熱発電システム設置計画

州教育局は向こう5年以内に光熱費を少なくし、州政府が推進している再生可能エネルギー計画を促進するため、州内の全公立校に太陽熱発電システムを設置する案を検討している。教育局によると、太陽熱発電パネル設置には前金が必要でない上、将来的には生産された余剰電力を売却し、その利益を学校毎のプロジェクトに利用する事も可能であるとして、注目が集まっている。同様のプロジェクトは、他州でも見られるが、ハワイの計画ほど大規模な例は、今の所行われていない。

世界に羽ばたく人物を育てたいハワイ!

和気な心配な教育面にも積極的に入れたい。留学先にも最高。

今年の人にオバマ大統領

タイム、08年に続き2回目

「ニューヨーク共同」米誌タイムは19日、年末恒例の「パーソン・オブ・ザ・イヤー（今年の人）」に、11月の米大統領選で

再選を果たしたバラク・オバマ氏を選んだと発表した。オバマ氏を選ばれたのは、米国初の黒人大統領に当選した2008

年に続き、2回目。同志は理由として、オバマ氏が「1940年以降、失業率が7.5%を超える中で再選された初の米大統領」で、多様な国内各派をまとめ上げた「新たな米国の象徴であり創造者」と指摘した。

オバマ氏のほか、パキスタンの女子の教育機会の充実を訴えイスラム原理主義勢力に銃撃された少女マララ・ユスフザイさんや、エジプトのモルシ大統領、クリントン元米大統領とヒラリー・クリントン国務長官の夫妻らも「今年の人」の候補に挙がっていた。



公立校全生徒にコンピューター支給計画

連邦教育省の新基準に準拠する為に州教育局は2015年までに公立校の生徒すべてにラップトップ・コンピューターまたはタブレット端末を支給する「ワン・オン・ワン」プログラムを実施する計画を発表した。この計画は今年度でハワイ島の学校で試験的に実施される予定である。 Hawaii Pacific Press 12/15/12

